

## 株式会社ミュージックバード 第63回番組審議会議事録

1. 開催日時 平成26年9月3日(水) 15時00分～16時30分

2. 開催場所 TOKYO FM 10階 大会議室

### 3. 出席者

◆番組審議会委員

- ・矢内 廣 委員長
- ・福本 ゆみ 委員
- ・中西 健夫 委員

◆放送局

- ・一瀬 社長
- ・雄谷 常務
- ・江森 技師長
- ・岩崎 プロデューサー
- ・田中 プロデューサー
- ・事務局 高木

### 4. 議事概要

今回は、KAYO&ENKA チャンネルの番組「歌の交差点」(8月20日(水) 19:00～20:00 出演:原田ヒロシ ゲスト:清水まり子)について審議が行われた。

- ・当番組は、月～木の夜7時から8時に日替りのパーソナリティで放送しており、原田ヒロシ氏は唯一の男性パーソナリティ。この種の歌謡番組を生放送しているラジオが少ない時間帯でもあり、ご契約のお客様に人気がある。ファクスなどお便りのコミュニケーションも多い。
  - ・幅広い歌を歌い、広い交友関係を持つ原田氏によって、ゲストの話が深く引き出されていると同時に、もう20年程続いているので、歌手の方々の間に歌の「交差点」というか「輪」ができていることを感じている。
  - ・当社は今後もクラシック、ジャズにももちろん注力していくが、歌謡・演歌ファンも相当の厚みで存在することを念頭に、このジャンルもしっかりと放送していきたい。
- ということが放送局側から説明され、これに対して委員からは、
- ・現役演歌歌手でないと語れない興味深い内容(同業者歌唱力の分析など)が続き、聴き手を飽きさせない。この番組がきっかけで、出演の二人に親近感を抱いたリスナーも多くいるだろうと感じた。ゲストの清水氏が、亡きお母様のことを語るくだりはぐっと来た。
  - ・原田氏の司会が上手で気持ちよく聴けた。古臭い感じもせず、面白かった。
  - ・歌謡・演歌のファンは確かに大きい存在。もちろん演歌だけに限らず、今、フォークなどの人気は非常に高い。ファン層は主に団塊の世代。彼らがエンターテインメントのマーケットに占める割合は、これからもっと大きくなるだろう。

等の意見・助言があった。局からは

- ・今、歌謡曲の黄金期に活躍されていた方がほぼ60代に入られて、ライブ活動などでかなり活躍している流れと、我々の放送がどうリンクできるのか考えている。現在の歌謡・演歌のマーケットで、原田氏のようなパーソナリティをどう生かしていくか。そこにミュージックバードらしさというものをどう出していくのかが、当社の放送をより魅力的なものにしていくうえで必要な要素ではないかと思っている。

との考えが説明された。